

9 林野火災防ぎょ訓練

林野火災の特殊性及び資源保護の重要性を考慮し、防災関係機関が共同で訓練を実施することにより、関係機関相互の協力体制の強化を図るとともに、防ぎょ技術の向上と防災思想の普及を図ることを目的に、次により訓練を実施した。

(1) 日 時

平成26年5月18日（日） 午前10時から正午まで

(2) 場 所

陸上自衛隊王城寺原演習場「D-2弾着区域」周辺

(3) 参加機関

陸上自衛隊第22普通科連隊・第6戦車大隊・第6飛行隊・第1ヘリコプター団、東北管区警察局宮城県情報通信部、山形県、福島県、仙台市消防局、塩釜地区消防事務組合消防本部、大崎地域広域行政事務組合消防本部、石巻地区広域行政事務組合消防本部、黒川森林組合、宮城県警察本部、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、大和町消防団、大郷町消防団、富谷町消防団、大衡村消防団、黒川地域行政事務組合消防本部、宮城県

(4) 訓練概要（特色）

- ① 実火を用いて、火災防ぎょに特化した訓練とする。
- ② 発災町村のみでの対応が困難になったことを想定し、黒川地域行政事務組合消防本部と黒川郡内4町村の消防団が協力して遠距離送水、放水訓練を行う。
- ③ さらに火勢が拡大したことを想定し、他地域（市）の消防本部（局）にも応援要請を行い、仙台市、塩釜地区、大崎地区、石巻地区並びに黒川地域の各消防本部（局）が協力して遠距離送水、放水訓練を行う。
- ④ 効果的な火災防ぎょを行うため、陸上自衛隊、山形県、福島県、仙台市、宮城県のヘリコプターを活用した空中消火を行う。
- ⑤ 訓練場所が携帯電話の不感地帯であることから、各参加機関は一般的な携帯電話以外の通信手段を確保し、自参加隊（者）への活動状況並びに各参加機関の本部（庁）等との通信連絡に当たる。

(5) 訓練種目

初期消火・通報訓練、現場指揮本部設置・運営訓練、通信確保訓練、災害映像伝送訓練、火災防ぎょ訓練、防火線設定訓練、残火処理・残火確認訓練